

滋賀県立農業大学校シラバス

講座名	環境と農業	担当	大学教員	実務経験 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
科目の種別	教養 <input checked="" type="radio"/> 共通 <input type="radio"/> 専攻	対象学生	<input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 就農	
学期	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/>	時間数(単位数)	32時間(2単位)	
授業形態(○記入)	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input checked="" type="radio"/> 演習	実験	実習	見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 食の安全と農業 | 2. 資源循環型農業のあり方と展開方向 |
| 3. 滋賀県の環境と農業技術(環境こだわり農業) | |
| 4. 総合的病害虫管理技術 | 5. 有機農業の技術と認証 |

授業内容(4時間を1回分とした内容)

第1回(4時間)	I. 地球温暖化について
第2回(4時間)	II. 農業による環境汚染 II-1. 食料自給率の現状
第3回(4時間)	II-2. 農業生産による環境汚染(1)
第4回(4時間)	II-2. 農業生産による環境汚染(2)
第5回(4時間)	III. 農業からの環境保全方策 III-1. 環境保全への指針
第6回(4時間)	III-2. 農業生産現場での環境保全
第7回(4時間)	III-3. 農業による地域の活性化
第8回(4時間)	III-4. 獣害問題の現状と対策

使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入

講義の中でプリントを配布する。

到達目標

地球温暖化(気候変動)に対する理解を深めるとともに、地球温暖化と農業との関係、農業が環境汚染の加害者と被害者の両面を有していることを理解しながら、農業が環境保全に貢献する産業となるための環境保全指針について理解と知識を深めることを目標とする。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))

- 記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
○授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。